



# 青南だより

令和4年 夏休み号

港区立青南幼稚園  
園長 新山 裕之

## <生き物たちのパラダイス>

青南幼稚園の園庭は、多様な生き物を呼び込む仕掛けが満載のビオトープです。ワクワク池は、平成13年に保護者や教職員、子どもたちとで作ったものです。アズマヒキガエルやそのオタマジャクシがいます。オオシオカラトンボは初夏からずっと池の周りを飛び回って、産卵もしています。2本あるエノキはタマムシの棲み処で、今年も園庭でタマムシを見つけて育てています。ミカンはアゲハチョウの産卵のために、アベリアはチョウが蜜を吸えるように3年前に植えたものです。

## <受け継がれる自然の恵みを生かして>

園庭は歴代の先生方や保護者の皆さんの思いが込められた木々や草花が生き生きと育っています。ブドウは保護者からいただいた苗を植えたものです。裏庭の白いヒガンバナは芋掘りに行った先の農家で球根をいただいてきて植えたそうです。カキやアンズ、ビワなど実の生る木々は開園当時からあったものだと思いますが、剪定や世話は日々続けています。子どもたちが安心して過ごせる教育環境を維持するには、ビオトープも手入れをしなくてはならないからです。

## <自然に寄り添いながら付き合う>

カエデに発生したイラガは、発見したその日にすぐに剪定して駆除しましたが、夏休みにはサクラも含めて業者に手入れを依頼しています。畑やプランターの野菜類は、初夏の異常気象の影響もあり、収穫や植え替えのタイミングがズレてしまったものもありました。夏は畑の土を整えて、2学期には再び野菜作りなどの機会がもてるように種まきや苗植えに挑戦したいと思っています。枝豆のように、親子で関わって生長を見守ることもできればと思っています。

### 青南の 二十四節気

・・・葉月 (はづき)・・・

立秋 (7日) …セミが鳴き、暑さはまだまだ続きます …

処暑 (23日) …暑さも少し収まり、もうすぐ2学期 …

今年史上最短の梅雨とその後の酷暑で野菜や木の実の収穫には大きな影響が出ました。アンズも収穫する前に落下してしまい、ジャムにする願いは叶いませんでした。ジャガイモは、収穫時期は遅くなったものの、立派なジャガイモがたくさん掘れました。年少組が親子で育てた枝豆は、収穫量は少な目でしたが、みんなおいしいと味わっていました。今年も、野菜が苦手という子が自分たちで育てた野菜だと食べられたという姿があり、幼稚園で野菜を育てる大きな意味を実感します。



幼稚園産のタマムシとオオシオカラトンボ



年中組はミニトマトを収穫しました



年長組はジャガイモをたくさん掘りました



ポテトフライにでもらい、おいしくいただきました



枝豆は親子で一緒に世話をし続けました